

ロゼ

文化情報誌 ロゼ

ROSÉ THEATRE
ART INFORMATION OF FUJI CITY
CULTURE MAGAZINE ROSÉ

VOL. 32 2000



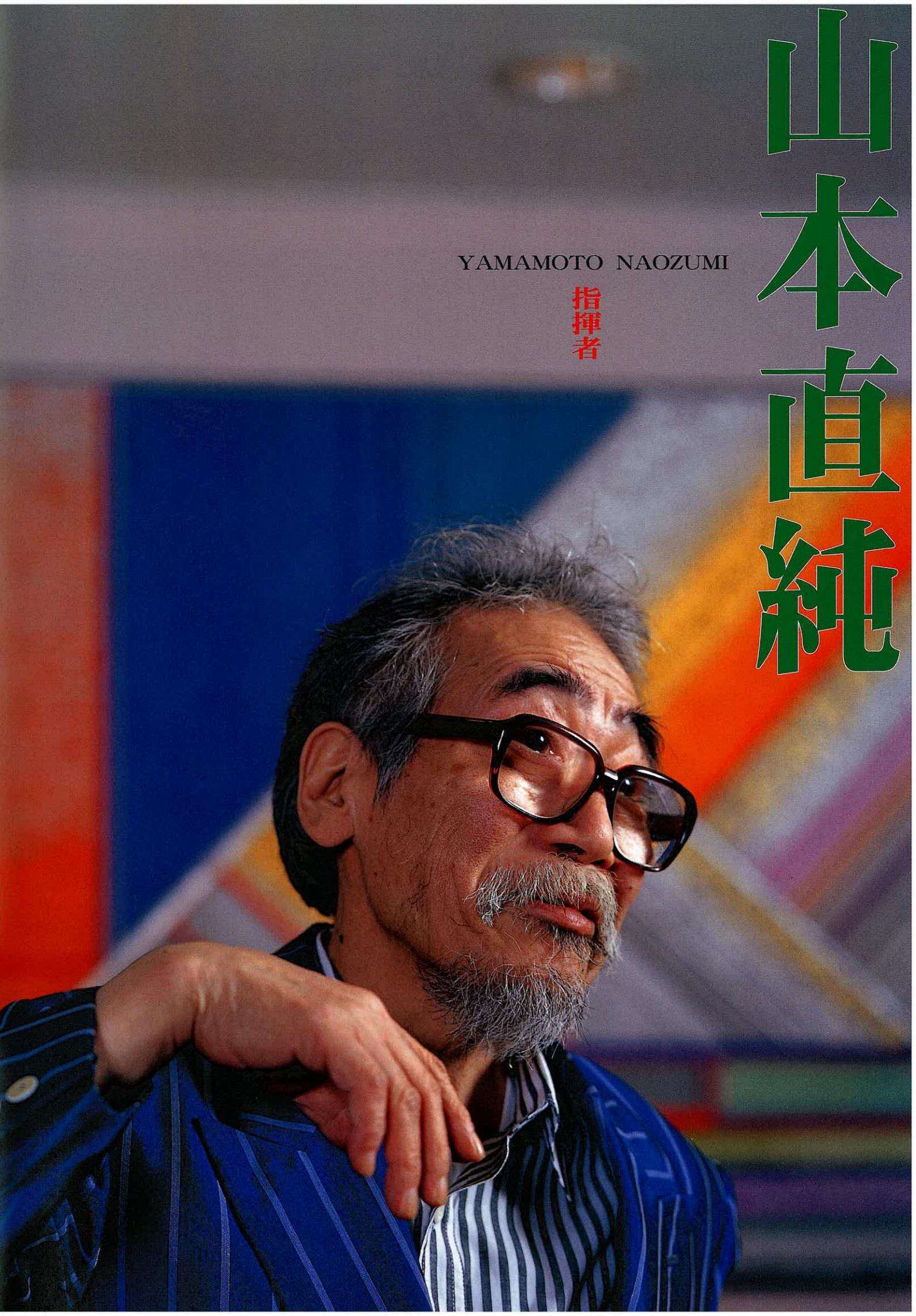
ロゼ

富士市文化情報誌 ロゼ 2000年7月発行(第32号)
発行 (財)富士市文化振興財団 〒416-0953 富士市蓼原町1750番地 TEL(0545)60-2510代
企画・編集・製作 (財)富士市文化振興財团事業課広報係 アドスペース エーピック株式会社

山本直純

YAMAMOTO NAOZUMI

指揮者



音楽は世界の共通語



音楽の楽しさ

音楽は世界中どこの国でも通じます。英語、独語、仏語ができなくても音楽でどこでもコミュニケーションがとれます。

また一人で演奏したり、僕が大阪やつていた一万人の「第九」のように一对や一万人単位で演奏が楽しめるのも音楽ならではのもの。

さらに「ベートーヴェン」「バッハ」など没後何年何百年たつても世界中に楽譜が生きていますし、民族、国家を越え、楽しさ・悲しさを伝える音楽があります。地図は音楽の星ですね。

日本人とクラシック音楽

もともと日本人は音楽が好きですが、なかなか聴くチャンスが無いのです。

いつでもどこでもオープンマインドで楽しく聴けるといいのですが、改めて聞くとなるといかにもまつて別の問題と思ってしまうのです。趣味や娯楽と同じで常に音楽が身近にある環境が大切です。

特にオーケストラはすばらしいですね。楽器がたくさん有り、楽器が個性を持ちそれ違った個性のぶつかり合いがアンサンブルとなりります。スポーツは野球で九人、サッカーで十人ですがオーケストラは十人、百人、一人でもできます。



音楽の授業は覚えるのではなく楽しみ方を感じるのです

現在青少年が関わる問題が多い様ですが、家庭で教えられないことを学校に押しつけていないですか？一番大切なのは社会教育なんですね。大人だって音楽の授業が終わつた訳じゃなく、子供から大人まで生涯に渡り音楽から学ぶものがあります。これから少子・高齢化社会に音楽の必要性が重視されてくると思います。

音楽の授業は文部省で作ったカリキュラムどおり、一年でこの曲二年でこの楽器をやって、要は单调は#がいくつあるかなんて考えてたら嫌になっちゃいますよ。

いまの青少年に伝えたい事は「希望」、将来を大きく見ることです。若い時に音楽に関心を

当劇団が主催する「ふじ少年少女芸術劇場」中学生招待コンサートが七月五日おこなわれました。今年は「新日本フィルハーモニー交響楽団」とテレビ・ラジオでおなじみの指揮者山本直純さんによる楽しい音乐会が開催されました。リハーサル終了後「ロゼシアターはいいホールですね」とおしゃっていました。山本直純さんにお話をうかがいました。

当劇団が主催する「ふじ少年少女芸術劇場」中学生招待コンサートが七月五日おこなわれました。

今年は「新日本フィルハーモニー交響楽団」とテレビ・ラジオでおなじみの指揮者山本直純さんによる楽しい音乐会が開催されました。リハーサル終了後「ロゼシアターはいいホールですね」とおしゃっていました。山本直純さんにお話をうかがいました。

日本人とクラシック音楽

もともと日本人は音楽が好きですが、なかなか聴くチャンスが無いのです。

いつでもどこでもオープンマインドで楽しく聴けるといいのですが、改めて聞くとなるといかにもまつて別の問題と思ってしまうのです。趣味や娯楽と同じで常に音楽が身近にある環境が大切です。

特にオーケストラはすばらしいですね。楽器がたくさん有り、楽器が個性を持ちそれ違った個性のぶつかり合いがアンサンブルとなりります。スポーツは野球で九人、サッカーで十人ですがオーケストラは十人、百人、一人でもできます。

音楽は世界中どこの国でも通じます。英語、独語、仏語ができなくても音楽でどこでもコミュニケーションがとれます。

また一人で演奏したり、僕が大阪やつていた一万人の「第九」のように一对や一万人単位で演奏が楽しめるのも音楽ならではのもの。

さらに「ベートーヴェン」「バッハ」など没後何年何百年たつても世界中に楽譜が生きていますし、民族、国家を越え、楽しさ・悲しさを伝える音楽があります。地図は音楽の星ですね。

持つてもらい、そこから感激したり感動を覚えたり、感受性が強い学生の時、感動した音楽は一生心の支えになります。ロゼシアターはいいホールですね。お客様を大事にしてやってくださいね。財団で事業をおこなう場合「肩肘はつてオーケストラを聴かせてやる」なんて思わないことですね。

音楽は自由ですからます楽しむことです

●山本直純・1932年東京生まれ。東京芸術大学作曲科に入学、後に指揮科に転じる。在学中よりラジオ、テレビ、レコード、映画など各分野で才能を発揮する。72年小澤征爾とともに新日本フィルハーモニーを設立、指揮者団幹事となる。73年より10年間テレビ番組「オーケストラがやって来た」の音楽監督、またテレビCM等に出演し広く知られる。74年国連委嘱作品「人」を作曲、ニューヨーク国連会議場をはじめパリ、ロンドン、西ドイツ各地で演奏。その後、日本人として初めてのボストン・ポップスを指揮した。82年より98年まで毎年大阪城ホールで「一万人の第九」を構成・指揮。クラシックの大衆化に力を注ぎ、その功績は大きい。著書に「オーケストラがやって来た」「紅いタキシード」などがある。



宇宙人

かぐや姫は

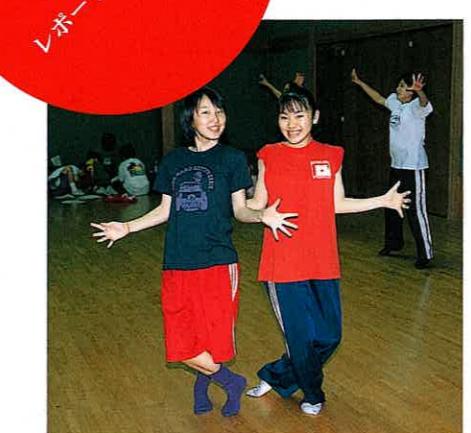
THE TAKETORI STORY

新説・竹取物語

脚本・演出・振付 三浦克也
作 曲 海田次朗
歌唱指導 辻村典枝
稽古ピアノ 渡辺静香



ミュージカルスターの卵たちの生の声をお届けしま～す。もしかしたら、本当に将来のミュージカルスターが混じっているかもしれないな～(笑)



稽古風景
レポート・インタビュー

本気でミュージカルスターを目指す望月彩乃さん(富士見高校一年) 左 原高校一年 右 小林紗依さん(吉原北中学校一年生)

歌つたり、踊つたりして自分を表現することは素晴らしいことだと思います。ミュージカルをやっていきたいですね。友だちと一緒に立つこともでき、とても楽しいです。これからもずっとミュージカルをやっていきたいですね。友だちの和を広げて、自分の好きなことをやつて、将来の夢はミュージカルスターかな。へへ



ふだんはおもしろい
ちょっと変なおじさん
演出助手の小林清彦先生
役に入った目は真剣そのもの

西家貴絵さん
(富士南中学校二年生)

小学生六年になつて中学生と一緒にグループに入れてとてもうれしいです。歌なんかアルトなのにソプラノにつられちゃつて音程をとるのがたいへんだつたり、踊りで早い動きについていけなかつたりしますが、レベルの高い練習に挑戦していく楽しさがあります。



勝亦真美さん
(青葉台小学校六年生)



甲斐博子さん
(丘小学校六年生)



ミュージカルのイメージとラフデザインを基に念入りの打ち合わせをする演出助手の立石光博先生と衣裳製作の牧野ちや子先生。



石部優さん
(吉原第二中学校一年生)



全身で表現することを
指導する演出助手の
志田澄美先生



みんな 見に来て！

青少年サマーミュージカル vol.2 新説・竹取物語
「THE TAKETORI STORY」

平成12年8月4日(金)
開演1回目13:00／2回目15:00
ロゼシアター中ホール
入場無料



小林紗依さん
(吉原北中学校一年生)



熊谷健太郎さん
(岳陽中学校一年生)



佐野晃弘さん
(田子浦小学校五年生)



佐野絵梨花さん
(天間小学校六年生)



「お姫さま…」「名残り…」「サマースクール」
ペテランの域に達し、これからのミュージカル
スターのホープ
振付助手の深澤美貴さん



山本桐子さん
(吉原第三中学校二年生)



嶋珠希さん
(吉原第一中学校二年生)

サマースクールに参加してたくさん
友だちができました。みんなとミュージカルをやつてるとおもしろいし友だち同士ライバルとして競いあえます。それには和もの踊りにも挑戦したいです。夢はミュージカルスターを目指します。

お父さん先生(小林清彦さん)は、ときもあるけどやさしいです。踊つて歌つて好きなことができてとても楽しいし、新しいステップもおぼえられます。もっと大きな役に挑戦しても一度「狸」になつてお父さんをだめしたいです。

ミュージカルはみんな好きです。むずかしいけどもうなれた。劇もたのしいけどゲームもたのしいので、夏休みはミュージカルが終わつたらゲームをします。

サマースターの美人先生
振付助手の佐野美帆先生
男性スタッフのあこがれである。



お父さん先生(小林清彦さん)は、ときもあるけどやさしいです。踊つて歌つて好きなことができてとても楽しいし、新しいステップもおぼえられます。もっと大きな役に挑戦しても一度「狸」になつてお父さんをだめしたいです。

STORY

- 其の一「狙われた惑星の巻」
- 其の二「出会いの巻」
- 其の三「大渕小僧の巻」
- 其の四「鎧が渕の謎の巻」
- 其の五「牛若丸の巻」
- 其の六「役の行者の鬼退治の巻」

千年紀！

市民文化の新たなる挑戦と飛躍



一九九六年市民合唱「見よ西風からの富士」、一九九九年二十一世紀賛歌市民合唱「第九の集い」、そして二〇〇〇年十月十五日、二十一世紀を目前に市民合唱の新たなる挑戦として、W.A.モーツアルト「レクイエム」を開催いたします。

本公司演のために編成された「富士ロゼシアター合唱団」約百九十名の参加者は、合唱指揮者福島章恭先生の指導のもと本番に向けて熱の入った練習がおこなわれています。

ロゼシアター開館7周年記念事業
市民合唱 モーツアルト作曲「レクイエム」

REQUIEM



キャプション入ります



鈴木崇生さん・禎子さん

● 禎子さんは昨年の「第九」をはじめ合唱には幾度となく参加されています。その時ご主人は毎回送り迎えを担当、「それなら一緒にやりましょう」と今回ご夫婦そろっての参加。崇生さんははじめのうちいやいやながらでしたが、いまではすっかり合唱の魅力にとりつかれてしましました。家ではCDを聴きながらお二人で練習をすることもしばしば。

「二〇〇〇年の記念に良い思い出づくりになればいいですね」と一言。



伴奏ピアノは指揮者との呼吸が大切。



武田繁之さん・綾子さん

レクイエム REQUIEM

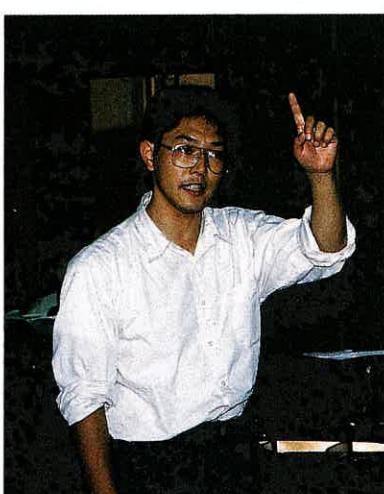
1791年の夏、モーツアルトのもとへ灰色の服を着た不気味な男が現れ、高額な前金と口外しないことを条件に「レクイエム」の作曲を依頼しました。後にこの依頼はウィーンの音楽愛好家であるヴァルゼック伯爵によるものであったことが明らかになるのですが、最愛の夫人を亡くしたばかりの伯爵が、自分が作曲したかのように見せるため、高額な契約金とともに匿名で代作を依頼したのです。

こんな謎めいた出来事が「レクイエム」作曲のきっかけとなっています。しかしモーツアルトは既にこの時期体調を崩しており、その後も衰弱の一途をたどります。そして12月5日、「レクイエム」未完のまま、モーツアルトは、その生涯を閉じます。その後「レクイエム」の作曲は数人の作曲家を経て、最終的に弟子のひとりであったジュスマイヤーによって1792年半ばに完成されました。

1800年に初版されて以来、多くの音楽家によって今もなお「レクイエム」は研究されています。曲が未完成だったため「モーツアルトならこうした」という「眞のレクイエム」の姿に現代に生きる私たちは口manを馳せるのです。

「僕の作品が君たちにわかるかな?」天才の名を欲しいままにしたモーツアルトは天国でそう言っているのかもしれませんね。

昨年から引き続き合唱団指揮を務める福島章恭先生。



ロゼシアター開館7周年記念事業
市民合唱 モーツアルト作曲

「レクイエム」

平成12年10月15日(日)

開場14:00 開演14:30

ロゼシアター・大ホール

入場料(全席指定)一般:3,000円 学生:1,500円

指揮:ペトリ・ヴロンスキ

管弦楽:ヤナーチェク・フィルハーモニー管弦楽団

合唱団:富士ロゼシアター合唱団

● 優子さんは娘(直子)さんを誘つての参加。直子さんは高校三年生、「学校も大事ですが、教室の授業ばかりでなくこうした合唱でいろいろな人と接するのも大切な勉強ですから」と優子さん。

『市民創作ミュージカル』・『第九』などの経験を生かし、舞台でしか味わえない感動のすばらしさを直子さんに体験させてあげたいと母の思い。



「足の指を開く!これが福島式発声法の極意」
使用楽譜はプライトコラ版。
ラテン語の歌詞にも苦労してます。

● 「昨年の『第九』に友人に誘われ参加して以来、合唱にはまりましたね。福島先生の指導で声がいくらでも出るようになりました。仕事(住職)がら声を出すことが多く、以前は一日に二、三軒法事が続くと最後には声がかかれてしまいますが、今では発声方法を変えています。合唱のおかげで本業にも役立てられました。お経を読んで人に意味を伝えると同じように、レクイエムの意味も伝えられるようになります」といですね。

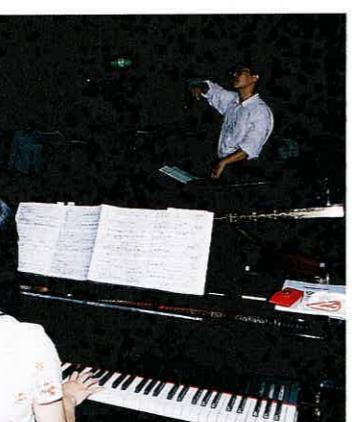


磯田浩一さん

● 父娘のコミニニケーションの場として参加した武田さん。合唱やオペラで舞台に立った経験から娘にもその感動を味わせてあげたいと綾子さんを説きました。「合唱は中学生のときクラスのみんなと歌いましたが、本格的なプレスや発声方法は難しいですね」と言う綾子さんに「高校時代の思い出になるよう最後まで一生懸命がんばってもらいたいですね」と励ます父。



伴奏ピアノは指揮者との呼吸が大切。



武田繁之さん・綾子さん



パリ・オペラ座 天井画(シャガール描)(上)
パリ・オペラ座(オペラ・ガルニエ)(下)

新装工事がすんで新築のようにきれいな外装の最近のオペラ座

ROSE HOT REPORT

「太陽王の国から」
—パリ音楽だより—



皆さんは今年三月、ロゼンシアターでの『バロックの古楽器展』をご覧になりましたか。私は楽器や楽譜をお貸しし、会場におおりましたのでお目にかかるつた方もいらっしゃるかも知れません。楽器博物館にもないような貴重な楽器が展示され、またそれらの楽器を使つた演奏会もあり大変価値のある催しでした。

【欧洲で主流のオリジナル主義の演奏】

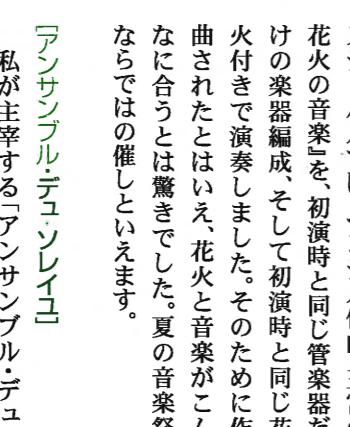
オリジナル主義の演奏とは、作曲當時の楽器(古楽器)を用い、当時の奏法、表現法で演奏する試みです。つまり作曲された曲の、オリジナルな形に近づけようという考え方です。様式を無視した演奏を排するその試みは、チエンバロなど歴史の中に埋もれていた楽器を復活させ、作品をいきいきと現代に蘇らせました。バロック音楽はもちろん、古典派やロマン派の曲にもその方法を用いた演奏は、今ヨーロッパの主流となっています。

【パリの古楽演奏・バロックオペラ】
私の住むフランスは、今やヨーロッパでも有数の古楽が盛んな国です。数多い古楽グループのなかでも一番人気は「レザール・フロリッサン」です。八十年代から数々のバロックオペラ上演を行ってがけ、「太陽王」と呼ばれたルイ十四世の時代の、ヴェルサイユ宮殿の優雅な音楽を復活させ、今ではフランス国内のみならずヨーロッパ各地やアメリカでも絶賛されています。一九九七年パリ・オペラ座ではラモー作曲「イボリットとアリシ」を、更に一九九九年にはヘンデル作曲「アルチーナ」、ラモー作曲「優雅なインドの国々」を大成功させました。バロック・オーボエ奏者である私の妻、植野真知子は、一九九二年に『レザール・フロリッサン』のメンバーやして、数々のオペラ上演や演奏会、CD録音に参加しています。昨年にひき続き今年の九月も、パリオペラ座で『優雅なインドの国々』を再演します。このオペラは、一七三五年に初演されて当たりをとった異国情緒あふれる作品で、各幕のスペクタクルな演出と華麗なバレエは必見です。

【アンサンブル・デュ・ソレイユ】
私が主宰する「アンサンブル・デュ・ソレイユ」は、フランス・バロックオペラの上演を目標に、様々な演奏活動を行っています。来年三月二日、ロゼシアターでのコンサートではフランス・バル・バロックオペラ音楽中心のプログラムを演奏します。皆さんに古楽器の音色の魅力、バロック音楽の持つ多様な世界を紹介したいと思っています。どうぞ期待下さい。



【アンサンブル・デュ・ソレイユ】
私が主宰する「アンサンブル・デュ・ソレイユ」は、フランス・バロックオペラの上演を目標に、様々な演奏活動を行っています。来年三月二日、ロゼシアターでのコンサートではフランス・バル・バロックオペラ音楽中心のプログラムを演奏します。皆さんに古楽器の音色の魅力、バロック音楽の持つ多様な世界を紹介したいと思っています。どうぞ期待下さい。



PROFILE
常葉 一雄
Kazuo Tokiwa
1957年生まれ。県立富士高等学校、吹奏楽部出身。
桐朋学園大学音楽学部演奏学科にてトランペットを祖堅正氏、指揮を紙谷一衛氏、パリ・エコール・ノルマルにてトランペットをアンドレ・デュ・ローリー、バロックトランペットをジョエル・ランス氏に師事。ヨーロッパを中心にヨーロッパ各地で音楽活動。1996年、妻であるバロック・オーボエ奏者の植野真知子と「アンサンブル・デュ・ソレイユ」を結成。演奏家としてのみならず新進気鋭の音楽プロデューサーとしても活躍。パリ在住15年目。

【夏の音楽フェスティバル】
パリは世界の文化の中心のひとつ。この街では世界中の音楽のみならず、美術・演劇・映画などを気軽に楽しむことができます。でも音楽ファンの方には、夏のパリはバカンスシーズンなのでお薦めできません。特に八月は、殆ど催しまらないからです。でもその代わり、フランスの地方では、お城や教会、ローマ時代の遺跡などで音楽祭や演劇祭など沢山の催し物があります。例えば地中海に近いエクサン・プロヴァンスという街では、数本のオペラが日替わり上演されます。バカンス中の人々は、も使っていました。

私の場合、そうしたレディメイド化された和紙の構造を手作業でもう一度解体する。そうすることで表現としてアリティの獲得を追求しています。



パリ・オペラ座 ラモー「イボリットとアリシ」オペラ本番終了後正面玄関の作曲者ラモー像の前で。植野真知子



吉永 裕
よしなが ゆたか
● (一九四八年 長崎県)

日本の伝統技能「和紙」にこだわり、和紙の持つ優美さに魅せられた二人の作家による「紙の現代アート展」11月2日(木)～12日(日)を開催いたします。この展示を前に現在創作中の紙の現代アート作家、伊部京子さんと吉永裕さんに作品の意図と展示への抱負をうかがいました。

紙の現代アート展

伊部京子
いべきょうこ
● (一九四四年 名古屋市)



私はバスクテルカラーレ一番使う画家かな。
紙に絵を描くのではなく、紙そのものを顔料を使って耕す。纖維を壊し、けばだたせ、色をからめて作品とするのです。

和紙は従来使用する目的に応じて漉かれてきました。「岐阜の美濃紙」「越前奉書紙」「吉野の表装紙」など墨が滲まないよう、縮みが出ないように漉かれているので、書・絵画に適しており出来上がった紙は「横山大觀」「東山魁夷」も使っています。

私の場合、そうしたレディメイド化された和紙の構造を手作業でもう一度解体する。そうすることで表現としてアリティの獲得を追求しています。

紙の魅力を最大に生かそうと思えば、和紙の特性を裏切ること。
又それも特性だつたりして…。
イツタリ、キタリの気紛れな紙の举动のあいてをしています。



※次号では展示内容とお二人の作家をクローズアップします。

木から韌皮纖維のみを取り出し、水仕事の連続で紙へと変化させてゆく和紙づくりの行程を見るにつけて、『紙とは何か』人と紙とのいい関係を願わずにいられません。紙所、富士市の皆様と共に人類英知の証「紙」の輝ける未来を作品を通して訴え続けてゆけることを幸せに感じております。

紙の繊維がまるで生きているかのようになつても違つた表情を見せて

いる。

私は楮の繊維に秘められた力をもつて見えるものにしたいと考えました。

和紙はなんらかの使用目的に合わせてつくられるため、纖維の力は沈められ、表面は滑らかで穏やかな表情をしていきます。紙漉きの道具はその目的にあわせて改良し尽くされています。伝統的な紙漉きから自由になるためにはまず道具の考案から始めなければなりません。私が造ろうとしたのは漉き上げて乾燥した時に即作品であり、水の流れだけで纖維を整える《漉く》ことを作品づくりの手法としてしました。



PROFILE
常葉 一雄
Kazuo Tokiwa

2000年8月・9月・10月の催し物のご案内
財団自主事業をはじめ、一般販賣事業を含めたスケジュールです。

INFORMATION

ROSE THEATER · EVENT CHECK LIST

AUGUST 8

日	曜日	ホール	イベント
1	火	中	第30回静岡県議会議員研修会
2	水	小	父と暮らせば ★
3	木	小	第40回関東甲信越静地区造形教育研究富士大会
4	金	大	富士地区教育研究協議会50周年記念式典
5	土	中	サマースクール「THE TAKETORI STORY」
6	日	小	第24回全国高等学校総合文化祭・弁論部門
7	月	小	//
8	火	大	第24回全国高等学校総合文化祭・放送部門
9	水	中	//
10	木	大	教育講演会
11	金	小	アリアと重唱のタペ
12	土	大	富士市青少年会議
13	日	小	ピアノ発表会(大石)
14	月	小	サマー・コンサート(落合)
15	火	中	インド古典舞踊パラタナティヤム公演 ★
16	水	小	ちいさな、ちっちゃな音楽会(佐野)
17	木	中	富士市戦没者追悼式
18	金	小	ピアノ発表会(渡辺)
19	土	中	全労済富士地域共済会設立総会及び映画会
20	日	小	ピアノ・エレクトーン発表会(松浦・大竹)
21	月	中	ふじ青空サミット
22	火	小	富士市青少年の船事後研修
23	水	中	ピアノ発表会(佐藤)
24	木	大	東海吹奏楽コンクール
25	金	小	第36回仲澤裕恵門下生ピアノ演奏会
26	土	中	平成12年度富士市建設業者研修会
27	日	小	秋の交通安全運動に伴う研修会
28	月	中	松竹大歌舞伎 市川團十郎
29	火	小	ピアノ発表会(飯山)
30	水	中	ピアノ発表会(飯山)

SEPTEMBER 9

日	曜日	ホール	イベント
1	金	小	ソンコ・マージュリサイタル
2	土	小	ピアノ発表会(伊賀)
3	日	小	ピアノ・エレクトーン発表会(佐々木)
4	月	中	ムジカ・ローザコンサート
5	火	中	マリン・ブランド第7回定期演奏会
6	水	中	労働衛生週間説明会
7	木	大	第20回富士市民大学
8	金	中	赤坂達三クラリネットコンサート
9	土	中	ピアノ・エレクトーンアンサンブル発表会(石川)
10	日	中	QCサークル大会(ユニフレーム)
11	月	小	クラウン歌謡学院エム・ユウ歌謡富士教室
12	火	中	feilce むさしの名曲コンサートVOL.1
13	水	大	第20回富士市民大学
14	木	小	斎藤 洋講演会
15	金	中	トリオ・オルフェウス
16	土	小	科学技術交流会・講演会
17	日	中	地域安全運動富士市民大会
18	月	大	岳南竹友会第14回定期演奏会
19	火	中	浅香光代劇団
20	水	大	ベニー・グッドマンオーケストラ
21	木	小	仲代圭吾・行代美都コンサート
22	金	中	第20回富士市民大学
23	土	小	第16回旭化成ファミリー・コンサート

OCTOBER 10

日	曜日	ホール	イベント
1	日	大	富士市中学校音楽発表会
2	月	小	着物着付発表会やよい流美装学院
3	火	小	芦沢12年度富士地区高等学校等
4	水	中	PTA指導者研修会
5	木	大	第20回富士市民大学
6	金	中	第34回富士市総合文化祭(コーラス)
7	土	小	第34回富士市総合文化祭(小型映画)
8	日	大	星陵高校吹奏楽部 第19回 吹奏楽演奏会
9	月	中	第34回富士市総合文化祭(邦楽)
10	火	小	第34回富士市総合文化祭(音楽)
11	水	中	第34回富士市総合文化祭(器楽)
12	木	大	富士中三校合同講演会
13	金	小	第20回富士市民大学
14	土	中	創立50周年記念式典 富士建設業協会
15	日	大	第13回富士市勤労者芸能祭
16	月	小	税法研修会 東海税理士会富士支部
17	火	中	THE ALFEEコンサート
18	水	大	平成12年度富士市自主防災組織リーダー研修会
19	木	小	市民合唱モーツアルト「レクイエム」
20	金	中	タニザワ楽器店富士・富士宮地区
21	土	小	翔の会親業公開講座
22	日	大	吉原一中 文化発表会
23	月	小	アマリーコンサート
24	火	中	第20回富士市民大学
25	水	大	第39回静岡県環境衛生大会
26	木	小	平成12年度富士地区安全運営管理協会セミナー
27	金	中	富士南中 文化発表会
28	土	小	アミケビアチエーヴォリ第4回演奏会
29	日	中	高千穂会20周年舞踏会
30	月	小	石川まゆみピアノ発表会

*一般貸出事業については、平成12年7月上旬までの受付です。
各ホールでのイベントや展示などの日程は変更になる場合があります。
□ロゼシアター主催事業 ★ロゼチケットセンターでもチケット扱っています。

展示室のご案内

会期	催し物
8/2~3	第40回関東甲信越静地区造形教育研究富士大会
8/4~8	食中毒防止ポスター展
8/10~15	平和のため富士戦争展
8/24~26	水墨画作品展
8/24~26	押花展
8/31~9/3	富士市展3期(書道)
9/5~6	クリナップ(株)新商品発表会
9/9~10	富士市小・中学校科学作品展
9/9~10	第35回富士市発明くふう展
9/12~17	全日本写真連盟富士岳南支部展

会期	催し物
9/12~17	鈴木道雄 作陶展
9/19~24	第三回游神会選抜展
9/26~10/1	アオキカラーフォトクラブ写真展
9/26~10/1	水神窟陶芸展
10/4~8	第34回富士市総合文化祭 前期
10/11~15	第30回富士市福祉展
10/18~22	第34回富士市総合文化祭 後期
10/23~25	富士市悠容クラブ連合会文化祭
10/28~31	フランスしゅう
10/28~29	第7回エンチヨーディー賞作品展示会

加藤喜美子さん

楽器(表紙) エレクトーン



私はピロミー。
お楽しみに!

ロゼネット

地獄の研修録アーボカラシチャタナー
三日間で渡る職員研修を受講、「一日中
過密なスケジュールで思つて余裕も無い
市役所十階の研修会場には初夏の心地よ
い風が吹き込む。瞬の快感に浸つてしま
うと講話が途切れてしまった。研修発表もぶかい成果、これではいい
かんと反省、集中力を鍛えるのが「ロゼ」
編集である。

取材ノート



チケットのお申し込み・お問い合わせは

ロゼ・チケットセンター

☎0545-60-2500 時間9:00~19:00

フレイガイド

- すみや 富士本町店 ☎(0545)63-2233 鷹岡店 ☎(0545)71-9592 吉原店 ☎(0545)51-9027(代)
- 富士中央店 ☎(0545)60-4567 富士宮・宮原店 ☎(0544)24-7160 富士宮・大宮店 ☎(0544)24-0255(代)
- 富士市民センター ☎(0545)61-6262 ●タンザワ楽器富士店 ☎(0545)52-1586 ●吉原商店街いろどりホール ☎(0545)51-5227
- ラ・ホール富士 ☎(0545)53-4300 ●マルサン漆器館 ☎(0559)63-0350 ●三島・g(アイ・ジー) ☎(0559)73-3003

INFORMATION

公演日には駐車場が混雑しています。

駐車場の台数には限りがあります。公演日の開演時間前は駐車場が大変混雑しますので開演時間に間に合わないことがあります。来館される際は公共交通機関をご利用されるか、お早めにお越しください。ロゼシアター駐車場・中央公園駐車場・富士市立中央病院駐車場(有料)がご利用できます。



ジョイントプログラム「ニューヨークのロンドン人」を演奏中のメンバー

鈴木善博さん(トランペット)

草分直樹さん(チューバ)

(九)三年新人演奏家「フサード」出演

彼らは僕たちを最初からアマチュアとは見えませんでした。短い時間のなかリハーサルから口の演奏方法を教えられました。ブレスひとつとっても、すでに次の音符のことを考えているのです。やはり今までに見たこともない、聴いたこともない、知らない技を目の当たりにしました。

ROゼメンバーズクラブ(友の会)

会員のお知らせ。



新規入会・更新された会員の皆さまは九月一日より平成十三年八月三十一日まで会員の特典が受けられます。

INTER MISSION

ウィーン・オペレッタ劇場 レハールメリーワイドウ 公演より

富士見高校吹奏楽部 田中雪乃さん・古部優佳さん

佐久間千早さん・母娘 高橋弘さん

高橋弘さん

渡辺加奈子さん

オペレッタははじめてです。母娘してクラシックバレエをやっていましたのでとても勉強になりました。これからいろいろなバレエ公演を観たいですね。「ドン・キホーテ」なんかいいですね。